

「地球温暖化と横浜の未来～地球温暖化の影響とリスク、そして私たちにできること～」の開催について

平成 26 年 3 月、本市で開催される IPCC 第 38 回総会に向けて、地球温暖化に関する最新の情報や知識を得ていただき、地球温暖化の影響に対する適応や私たちにできることを考える市民セミナーを開催いたします。

■目的

平成 25 年 9 月 27 日に気候変動に関する政府間パネル（IPCC）より第 5 次評価報告書第 1 作業部会報告書（自然科学的根拠）が公表されました。また、平成 26 年 3 月には日本で初めて横浜で IPCC 第 38 回総会が開催されます。第 38 回総会では、第 5 次評価報告書の第 2 作業部会（適応等）に関する報告書を取りまとめることとなっております。

本セミナーでは、第 5 次評価報告書第 1 作業部会報告書（自然科学的根拠）に関する最新の知見をわかりやすく伝えると共に、地球温暖化のリスクや地球温暖化の影響と共存（適応）していく社会を学び、私たちが未来のために行動できることを考えます。

■概要

日時：平成 25 年 12 月 12 日（木）13：30～16：30（13：00 開場）

場所：はまぎんホール ヴィアマレー

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい 3-1-1

<http://www.yokohama-viamare.or.jp/viamare.html>

主催：横浜市温暖化対策統括本部

協力：横浜市地球温暖化対策推進協議会

■プログラム

○挨拶 横浜市温暖化対策統括本部

○基調講演

江守 正多 氏 （国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長）

○パネルディスカッション

<テーマ> 「地球温暖化の影響と共存していく社会を考える」

<コーディネーター>

江守 正多 氏 （国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長）

<パネリスト>

小西 雅子 氏 （世界自然保護基金（WWF）ジャパン
気候変動・エネルギープロジェクトリーダー）

後藤 健 氏 （国際熱帯木材機関（ITTO）事務局次長）

松本 安生 氏 （神奈川大学 人間科学部人間科学科 教授）

<裏面あり>

○ワークショップ

<テーマ>「横浜で起こっていること。行動できること」

<コーディネーター>

小林 範和 氏 (特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク 事務局長)

北原 まどか 氏 (特定非営利活動法人 森ノオト 理事長)

4. 参加申込みについて

定員 300 名、参加費無料、先着順となっております。申込みは、下記まで「E-mail」・「Fax」・「電話」のいずれかにてお申込ください。(タイトル「地球温暖化と横浜の未来」・参加者氏名(ふりがな)・住所(区名まで)・電話番号を明記してください。申込みは定員になり次第締切らせていただきます。)

■参加申込先：横浜市温暖化対策統括本部 調整課

E-mail : on-climate@city.yokohama.jp

電話：045-671-2622 Fax：045-663-5110

※ホームページ(2013年11月25日(月)頃公開)

URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ipcc/>

会場案内図

はまぎんホール ヴィアマーレ (1F)



お問合せ先

横浜市温暖化対策統括本部調整課企画担当課長 林 総 Tel 045-671-2683

地球温暖化と 横浜の未来

～地球温暖化の影響とリスク、そして私たちにできること～

2014年3月、横浜市で開催されるIPCC（気候変動に関する政府間パネル）総会に向けて、市民のみなさまに温暖化に関する最新の情報や知識を得ていただくことを目的として、市民セミナーを開催します。

日時

2013年12月12日(木)

13:30～16:30 (13:00開場)

会場

はまぎんホール ヴィアマール

(横浜市西区みなとみらい3-1-1)

パネルディスカッション

「地球温暖化の影響と
共存していく社会を考える」

ワークショップ

「横浜で起こっていること。
行動できること」

参加お申込方法

右記まで「E-mail」「Fax」「電話」のいずれかにてお申込ください。(先着順)

※タイトル「地球温暖化と横浜の未来」・参加者全員の氏名(ふりがな)・住所(区名まで)・電話番号を明記してください。

ホームページ (2013年11月25日頃公開予定)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ipcc/>

定員 300名(参加費無料/先着順)

お申込期限 2013年12月9日(月)AM

お申込・お問合せ先 横浜市温暖化対策統括本部 調整課

Tel.045-671-2622 Fax.045-663-5110

E-mail:on-climate@city.yokohama.jp

主催：横浜市温暖化対策統括本部
協力：横浜市地球温暖化対策推進協議会

地球温暖化と横浜の未来

～地球温暖化の影響とリスク、そして私たちにできること～

第 1 部

開会挨拶 横浜市温暖化対策統括本部

基調講演



江守 正多 (えもり せいだ)

国立環境研究所気候変動リスク評価研究室長

1970年神奈川県に生まれる。1997年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に入所。「地球シミュレータ」の現場で研究を行うために2001年に地球フロンティア研究システムへ出向し、2004年に復職した後、温暖化リスク評価研究室長等を経て、2011年より気候変動リスク評価研究室長。

専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル第5次評価報告書主執筆者。

著書に「異常気象と人類の選択」、「地球温暖化の予測は「正しい」か?—不確かな未来に科学が挑む」、共著書に「地球温暖化はどれくらい「怖い」か?温暖化リスクの全体像を探る」、「温暖化論のホンネ—「脅威論」と「懐疑論」を超えて」「気候大異変 地球シミュレータの警告」等がある。2012年度日本気象学会堀内賞受賞。

パネルディスカッション

「地球温暖化の影響と共存していく社会を考える」

(コーディネーター：江守正多)



小西 雅子 (こにし まさこ)

世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)気候変動・エネルギープロジェクトリーダー



後藤 健 (ごとう たけし)

国際熱帯木材機関 (ITTO) 事務局次長



松本 安生 (まつもと やすお)

神奈川大学 人間科学部人間科学科 教授

記念上映



『ドロンコロン』 / 監督：伊藤有孝

アジア最大級の国際短編映画祭、SSFF & ASIA 2013「FutureCity Yokohama Award」受賞作品。

第 2 部

ワークショップ 「横浜で起こっていること。行動できること」

鶴見川流域ネットワーク

事務局長 **小林 範和** (こばやし のりかず)

●鶴見川流域ネットワーク(TRネット)

バクの姿の流域地図を共有しながら流域規模の市民連携をすすめる、《安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくりまちづくり》をとおして、持続可能な未来を開く新しい流域文化の育成を目指す、流域市民団体の交流・連携活動(ネットワーク活動)です。

森ノオト

理事長 **北原 まどか** (きたはら まどか)

●地域密着エコメディア「森ノオト」

環境啓発活動の実績を軸に、地域のヒト・モノ・コトをネットワークし、持続可能で有機的な地域社会をつくり出すために、森ノオトをNPO法人化して、リアルイベントの事業化や、多世代多主体協働の場「スローワーク・ラボ」の実践を行っています。

※各出演者は変更になる場合がございます。

開催日

2013年12月12日(木) 13:30～16:30 (13:00開場)

会場アクセス

はまぎんホール ヴィアマーレ 横浜市西区みなとみらい3-1-1

JR・横浜市営地下鉄線：桜木町駅より動く歩道利用5分。

みなとみらい線：みなとみらい駅下車「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より徒歩7分。

※駐車場のご用意はございませんので、当日は公共交通機関等をご利用ください。

IPCC 第 38 回 総会開催スケジュール

●平成 26 年 3 月 25 日(火)～29 日(土)：第 2 作業部会会合及び第 38 回総会

会 場：パシフィコ横浜

開催規模：約110か国、国際機関(UNEP・WMO など)から、約500人の研究者が出席

※ IPCCは、国連環境計画(UNEP)・世界気象機関(WMO)により設立された政府間機関で、気候変動に関する科学的な最新の情報をまとめ、広く一般に利用してもらうことを目的としています。

アクセスマップ

